

穂 学

平成28年度

広州日本人学校学校便り

[No. 10]

平成29年1月13日(火)(P)

発行責任者 教頭 高橋秀之

◆◆友だちとの関わりを通して学んでほしいこと◆◆◆ 校長 丸本 互

新年、あけましておめでとうございます。

今年は「酉」年。鳥のように眼光鋭く周りをしっかりと見つめ、じっくりと考えて取り組むことが必要なことも多々あるように思います。じっくりと腰を据えて、今年1年「学校教育目標」の具現化に向けて教職員と力を合わせ取り組んでいきたいと思っております。

さて、「友情は喜びを二倍にし、悲しみを半減させる。」という名言があります。子ども達の学校生活において、一番多く関わり多くの影響を受けるのはクラスの友だちです。「友だちと仲良くできて良かった。」と喜んだり、「友だちに親切にされて嬉しかった。」と感謝したり、「友だちと喧嘩してしまった。」と悔やんだり、「仲直りできた。」とほっとしたりというように、多くの経験をしながら学校生活を送っています。

友だちとの関わりといってもいろいろです。クラスの中では気の合う者同士とか好きな者同士の関わりが多いようですが、そのような関係の中では互いの意見や考えが似通っていて友だち関係も安定していますが、他を受け入れない自分たちだけの集団になってしまうこともあります。小中学生のうちには、できるだけ多くのいろいろな考えをもっている友だちと接することが大事だと思います。自分と全く違う性格の人とか気が合いそうもないと思う人とも、勇気を出して話してみることです。話してみると外見とは違って優しい人だったり、自分には無い素晴らしい面を発見したりして、仲良くなれるかもしれません。しかし、内気で消極的な子が進んで話しかけるということは、なかなかできないものです。そんな子ども達のためにも、子ども達同士が関わりをもつきっかけとなるように、席替えをしたりグループ活動をしたりして、多くの子が関わられるような配慮をどのクラスでも行っているのです。

いろいろな子と交流をもつことを通して、人間にはそれぞれ違った性格や性質、違った考え方があることに気付かせ、互いに相手を認めたり理解したりする心を育てていきたいと考えているからです。相手の気持ちを考えず、自分さえ良ければいいといったわがままや、他の人に迷惑のかかることはしてはいけないということもクラスや学校で教えていかなければいけないことだと思っています。

日本では、今もいじめの問題が後を絶ちません。家庭教育・学校教育の重要性を痛感しています。本校でも教職員が一丸となって、子ども達の指導に当たっています。一人ひとりの思いや願いを大切にしながらクラス全体の実態をしっかりと把握し、いじめのない、いじめの起こらない楽しい学校作りを進めていけるよう努力していきたいと思っております。絶対にいじめを見逃したり、いじめを許したりしてはいけないのです。何か心配事や悩んでいることがあったら、保護者の方や先生方に相談するよう、ご家庭でも繰り返しお話ししていただきたいと思っております。

運動会や学習発表会など、一つのことにみんなで協力して取り組んだとき、本当の友情が育まれるように思います。今後も、みんなで一つのことに夢中で取り組めるような、そんなクラスがたくさんできることを願っています。

今年も、昨年同様、学校へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

3学期スタート 始業式 学習や生活のまとめに期待

始業式代表のことば

みなさん明けましておめでとございます。今日で冬休みが終わり、新学期が始まるうとしています。みなさん冬休みは楽しかったですか？家族や友だちとの思い出は作れたでしょうか。ですが今日から新学期が始まります。みなさんは、新年の目標を決めていますか？めんどくさいと思う人たちもいるかもしれませんが、気持ちを新たに頑張るチャンスです。目標を持っていろいろなことにチャレンジしてみましょう。自分の苦手なことや得意なことをさらに頑張ることも目標に向かっていくということだと私は思います。勉強やスポーツ、生活習慣だけでなく、趣味や習い事にも目標を立ててみると、目標に向かってがんばれるかもしれません。是非、立ててみてください。きもちを切り替え、三学期の一日一日を大切にして過ごしていきましょう。

副会長 大村



◆◆◆読み聞かせボランティア◆◆◆

読み聞かせの日を心待ちにしています

毎月学校に来て小学部生徒に読み聞かせ活動をしている皆さんの紹介をします。グループ毎に図書室や自前の本から選書し、予めCOPYで拡大しためくりを作ったり、自宅で読みの練習をするなどして当日を迎えているそうです。パソコンとテレビを活用して本がさらに見やすくなる工夫もしています。また、図書室の整理やデコレーションにも取り組み、運営に一役かっています。今年度の活動は2月で終了。本帰国をされる会員もあられるとのこと。会員は随時募集しているそうですから興味のある方は問い合わせてみては如何でしょう。

お母さん方の熱演に引き込まれ..



お別れシーンに共感する6年生



連絡mail: bookxx@Xhx.cx.jx

本は、どろぼうがっこう ～脱獄バージョン～



格技室は100incスクリーン4年